

症状の進行に合わせた ご家族・地域の方へのメッセージ

軽度認知障害
(MCI)

軽度
認知症

中度～重度
認知症

家族の方へ



- 認知症の周辺症状は、周囲の関り方で変化します。周囲の理解と適切な支援があると認知症になってもその人らしく安心して暮らし続けられる可能性が広がります。
- 認知症になっても、わかること、できることがあり、その人の個性や人間性は有しています。本人の気持ちを受け止めサポートしましょう。

- こちらの気持ちが伝わらず、腹が立ってしまうことも…。
一人で抱え込まず、ご家族で相談したり、介護仲間をつくり気持ちを共有できるといいですね。
- 指摘や注意は症状や関係を悪化させてしまうことも…。
ご本人の行動には理由があります。どんな理由があるのか知ることが大切です。

- リフレッシュできる時間を持ちご自分のことも大切にしていきましょう。
- 会話が難しくなってくるので、表情やしぐさから気持ちをくみ取ることが心がけましょう。

地域の方へ



- 地域の集いの場へ声をかけあって参加しましょう。休みがちになっていたら声をかけあってお誘いしてみましょう。
- 気になる様子があれば、ご家族へ伝えてみましょう。(P5～6「あんしんガイド 本人の様子」から参照されて下さい)

- 認知症になってもできることはあります。ご本人が得意なこと、できることを役割として提供すると、ご本人の生きがいへとつながります。
- なんでもやってあげるのではなく、ご本人ができない部分をサポートしていきましょう。

- 認知症が進行していても、感情は残っています。
できるだけ笑顔で接すると、良い感情が残るご本人の安心感につながります。
- ご本人が好きだったこと、馴染みのあるものは記憶が残っているかもしれません。
- 介護サービスを利用することになっても、変わらず接していきましょう。



できないことを責めたり、記憶違いを否定されると落ち込んでしまいます。急かされると、できることもできなくなってしまいます。できることを見守りながら、生活することでお互いの笑顔が増えますよ。